



- 富山** コシヒカリは梅雨明け以降の高温から、平年より5日ほど早く成熟期を迎える見込みです。7月末に出穂した刈取始期の目安は、9月2日ごろを見込んでいますが、高温傾向が続くと刈取始期がさらに早くなると見込んでいます。刈遅れによる胴割米の発生を防ぐよう呼びかけているところです。
- 北海道** いずれの地域も平年より早く生育が進んでいます。檜山、日高、後志、空知、胆振、は7～10日、渡島、オホーツク、石狩、上川、留萌は4～6日程度早くなっています。
- 福島** 県全体で1～4日程度生育が早くなっています。会津の生育が特に進んでいるように見受けられるようです。
- 新潟** 新潟県は8月22日、フェーン・異常高温緊急情報(第3号)を公表しました。コシヒカリや新之助など登熟中後期の品種を高温障害から守るため、可能な限り灌水し、地温の上昇を抑えるよう呼びかけていますが、適確な対応策を講じるのは難しくそうです。
- 佐賀** 夢しずくは、出穂期～穂揃期を迎えていますが初期生育量が十分に確保できずに、幼穂形成期以降、草丈が伸長し、鬱閉した圃場が散見されているようです。台風6号通過時、葉先の裂傷や、葉の黄化褐変などが散見され、葉色がさめたように見えるようで懸念材料となっています。さがびよりは、草丈は平年より低く、茎数は多く幼穂形成始期は8月6日頃に迎えました。
- 長野** 生育はコシヒカリで1日～7日早くなっています。全体の傾向として標高が高く、田植時期が遅いほど早まる傾向にあるとのこと。

### 今週の玄米入荷情報

＝4年産＝

- 山形 つや姫 特別栽培  
長野 コシヒカリ 飯山  
福井 コシヒカリ テラル越前  
佐賀 さがびより  
岩手 ひとめぼれ 前沢  
新潟 魚沼コシヒカリ 十日町  
福井 いちほまれ 特別栽培  
佐賀 夢しずく 唐津特裁  
山形 雪若丸  
新潟 新之助  
秋田 あきたこまち やまもと  
宮城 ひとめぼれ 登米特裁  
福島 会津コシヒカリ HG  
福島 天のつぶ  
富山 コシヒカリ

＝5年産＝

- 千葉 ふさおとめ  
鹿児島 コシヒカリ 種子島

### 千葉 ふさおとめ

玄米は測定結果をみると胴割粒の割合が気になります。水分のバラツキが大きく調整を急いだように感じます。炊き上がりの香りはあまり感じられないものの、光沢は十分にあり。粒は大きくしっかりしていて、食べ応えはあります。噛み進めてもダレることなく粒を感じられますが、味は薄くて甘みが出て来るタイプではありません。冷めてくるとしっかりさが一層目立ちます。用途によっては歓迎される特製です。思ったほど胴割れの影響はなく、砕粒の発生や浸漬割れも殆どありませんでした。

産地	銘柄	アミロース	蛋白	水分	評価値
千葉	ふさおとめ	19.7	6.3	14.1	72